

沖縄市池原で確認されたシシ穴の概要について

比嘉 清和

1. 予備調査の概要

沖縄県北中城村にある米軍泡瀬ゴルフ場が、沖縄市池原の嘉手納弾薬庫内に移設するのに伴い、2003（平成15）年12月から2004（平成16）年1月にかけて文化財有無の予備調査を行った。^{（註1）}

嘉手納弾薬庫内は、米軍基地のため文化財の把握が困難な地域となっている。そのため、どれだけの数の文化財が、どの範囲に分布しているのか、確認を行うための表面踏査を行った。

調査は、地図を片手に区域内をくまなく歩きまわり、文化財と判断される遺物や遺構がないか、表面踏査する方法で行われた。

調査の結果、シシ穴、炭窯（?）、墓、山道（?）、屋敷跡、川堰などが確認された。

本稿では、今回の予備調査で確認されたシシ穴について報告するとともに、本調査へ向けた課題整理を行いたい。

2. 確認されたシシ穴の概要

確認されたシシ穴は、総数11基を数える（図1、表1）。

これらは、地表からの観察により、次の2つに分類できる。

1類 平面形は楕円形をしており、深さが浅いもの（1～6）

2類 平面形は円形をしており、0.5m程度の深さをもつもの（7～10）

シシ穴11のみ、表面に松の板が埋め込んであったため計測できず、分類は行っていない。

傾向として、1類は比較的小さく、斜面地に形成されている。逆に2類は比較的大きく、尾根状などの比較的平坦な場所に形成されている（表2）。

聞き取りによると、シシ穴はかなりの深さがあったというので、長い年月の間に埋まっている可能性もある。

3. シシ穴の分布状況

調査区のうち、シシ穴は南東部に集中して発見されており、分布状況に偏りが見受けられる。聞き取りでは、シシ穴は、イノシシを落として捕えるためにつくられたものだといわれている。また、このシシ穴群と池原集落との間には、イノシシの侵入を防ぐための猪垣が設けられている。



図1 シシ穴分布図

単位：m					
NO.	分類	長さ	幅	深さ	立地
1	1類	2.3	1.7	なし	斜面
2	1類	1.5	1.4	なし	斜面
3	1類	1.0	1.0	なし	斜面
4	1類	1.2	1.2	なし	斜面
5	1類	1.2	2.0	なし	斜面
6	1類	1.2	1.4	なし	斜面
7	2類	1.8	1.8	0.4	尾根上
8	2類	2.1	2.1	0.8	尾根上
9	2類	2.0	2.0	0.5	尾根上
10	2類	1.8	1.8	0.8	尾根上
11	計測できず				尾根上

表1 シシ穴の大きさと立地

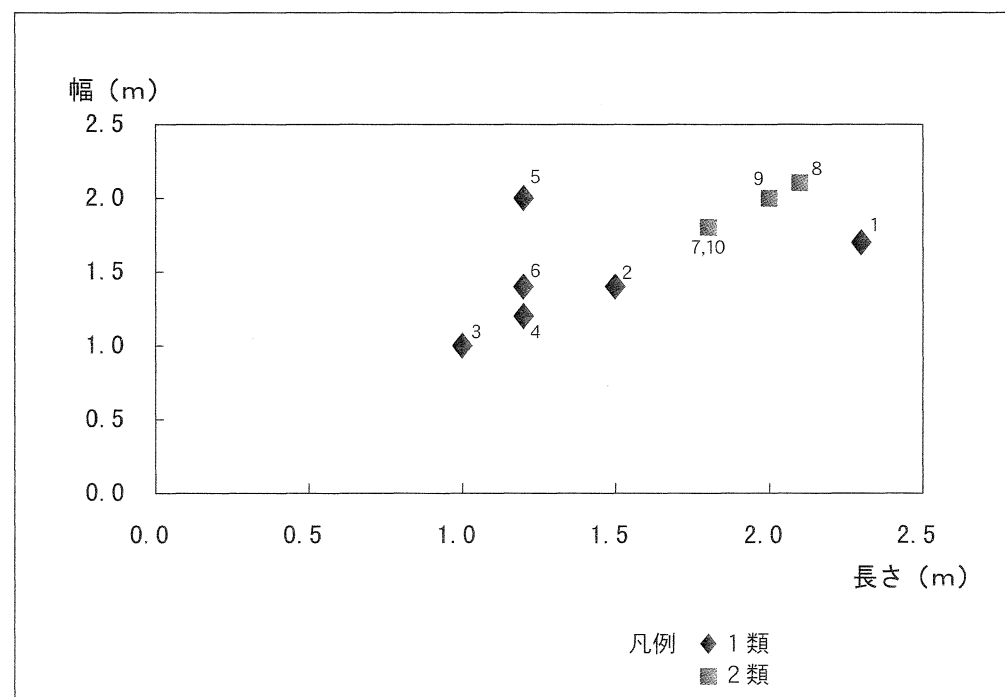


表2 シシ穴の大きさ分布図

4. 本調査へむけての課題整理

今回の予備調査により、本地域には数多くのシシ穴が残っている状況が確認された。今後、発掘調査も視野に入れ、より詳細な構造と規模の把握に取り組みたい考えである。

これらのシシ穴は、聞き取りによると、戦前（昭和初期頃）に使用されたものと言われている。こうした聞き取り調査の成果による民族誌的観点からのシシ穴利用が明らかになれば、猪垣や集落との関係を通した集落の自然空間の利用と資源活用の解明^(註2)につながる可能性もある。

また、近年では、こうした民族誌的研究の成果を先史時代の遺構の解釈に利用しようという動きが高まりつつある。^(註3) 沖縄では、まだ先史時代遺跡からのシシ穴の発見例は無いものの、資料化しておくことは意義のあることだと考えられる。

こうした観点から、今回確認されたシシ穴の資料化は、現代に生きる人々の自然空間利用のあり方を考察する民族誌的資料として重要である。さらにこれを発展させると、先史時代の生活を探る生態学的資料としての意義を持つものである。

本調査では、これらのことに留意した調査を行いたい。

註

1 調査員は、下記の通りである。

沖縄市立郷土博物館 山内正一、比屋根満、比嘉清和、宮城昭美

沖縄市文化財調査審議委員 池原直樹、比嘉賀盛

また、池原在住の佐渡山安光・島村善幸・新地信一ら三氏のご協力をえた。

2 秋道智彌は、著書『なわばりの文化史—海・山・川の資源と民俗社会—』（小学館,1995）の中で、人々の自然空間の利用と資源活用を論じている。

3 佐藤宏之「罽獺のエスノアーケオロジー —過去と現在の架橋—」

民族考古学研究会編『民族考古学序説』同成社,1998



シシ穴1



シシ穴4



シシ穴6



シシ穴8



シシ穴9



シシ穴10

沖縄市立郷土博物館紀要第13号

あやふや

2004年

沖縄市立郷土博物館

あやみや

第 13 号

も く じ

リュウキュウヤマガメ
〔過去 5 年間の調査より〕

大 谷 勉 (1)
喜屋武 優 子

沖縄島の蝶類食草について
—1992年からの記録から—

比 嘉 正 一 (17)

沖縄市東部の電力供給とラジオの普及について

川 副 裕一郎 (29)

沖縄市池原で確認されたシシ穴の概要について

比 嘉 清 和 (36)

エイサーにみる青年会活動とその展開

与那嶺 江利子 (42)

本誌のタイトルに付された「あやみや」という言葉は『おもろさうし』から引用したもので「美しい庭」の意味をもつものです。調査研究のみならず博物館の活動が、美しい庭のように多くの花が咲き誇ることを願って命名されています。

■表2 日本列島縦断エイサーキャラバンスケジュール■

都市	日 程	派遣青年会	会 場
札 幌	4 / 27 ~ 28	沖縄市越来青年会	丸井札幌本店、市内各地
熊 本	5 / 11 ~ 12	宜野湾市宜野湾区青年会	市内各地
広 島	5 / 25 ~ 26	沖縄市登川青年会	福屋広島駅前店、市内各地
仙 台	6 / 1 ~ 2	糸満市武富青年会	藤崎百貨店、市内各地
大 阪	6 / 8 ~ 9	与那城町屋慶名青年会	阪神百貨店、市内各地
名古屋	6 / 22 ~ 23	北谷町栄口青年会	名古屋三越栄本店、市内各地
郡 山	6 / 22 ~ 23	具志川市赤野青年会	うすい百貨店、市内各地
松 山	6 / 29 ~ 30	名護市青年団やんばる船	市内各地
岡 山	7 / 12 ~ 13	嘉手納町千原エイサー保存会	市内各地
神 戸	7 / 14	嘉手納町千原エイサー保存会	市内各地
東 京	7 / 27 ~ 28	沖縄市胡屋青年会	伊勢丹新宿本店、市内各地
金 沢	8 / 3 ~ 4	南風原町津嘉山青年会	市内各地
新 潟	9 / 7 ~ 8	読谷村座喜味青年会	新潟伊勢丹、市内各地
福 岡	9 / 14 ~ 15	沖縄市園田青年会	市内各地
青 森	9 / 28 ~ 29	勝連町平敷屋青年会	市内各地

■表3 沖縄市エイサーマンズリーイベント日程■

日 付	イ ベ ント	場 所	備 考
7月20日(土)	エイサー資料展 エイサー体験	エイサー会館 パルミラ通り	海の日
7月21日(日)	風山祭	山内中学校	山内地区
7月30日(火)	エイサーシンポジウム	沖縄市民小劇場あしびなー	
8月3日(土)	全国エイサー大会	沖縄市野外ステージ	
8月4日(日)	エイサー道じゅねー	胡屋地区周辺	
8月7日(水)	エイサー体験	エイサー会館	観光週間
8月11日(日)	エイサー道じゅねー予備		
8月18日(日)	沖縄全島子どもエイサーまつり	農民研修センター	
8月21日(土) ~23日(金)	旧盆エイサー道じゅねー	市内各地	旧盆
8月31日(土)	沖縄市青年まつり	市陸上競技場	前夜祭
9月1日(日)	沖縄全島エイサーまつり	市陸上競技場	市主催
9月22日(日)	かりゆしエイサーまつり	農民研修センター	登川地区

■表4 平成14年度県外派遣イベント及び青年会■

日 付	派遣イベント名	派遣青年会	人数	主 催
4月26~29日	全国エイサー道じゅねー(札幌)	越来青年会	30	沖縄県
5月24~27日	全国エイサー道じゅねー(広島)	登川青年会	30	沖縄県
7月26~28日	全国エイサー道じゅねー(東京)	胡屋青年会	30	沖縄県
9月7~9日	函館昆布フェスタ	知花青年会	10	函館市
9月13~15日	全国エイサー道じゅねー(福岡)	園田青年会	30	沖縄県
9月14~16日	町田エイサー祭り	諸見里青年会	45	町田市
10月12~14日	小松どんどん祭り	山里青年会	20	小松市

○ 執筆者

- 大 谷 勉 高田爬虫類研究所沖縄分室
郷土博物館協議会委員
- 喜屋武 優 子 (株)沖縄環境保全研究所
- 比 嘉 正 一 (有)東南植物楽園学芸員
郷土博物館協議会委員
- 与那嶺 江利子 沖縄市立中央公民館
郷土博物館友の会会員
- 比 嘉 清 和 郷土博物館学芸員
- 川 副 裕一郎 郷土博物館学芸員

あやみや 第13号

発行年月日／平成17年(2005年)3月31日

編集発行／沖縄市立郷土博物館

〒904-0031 沖縄県沖縄市上地2-19-6 TEL (098) 932-6882

印 刷／(有)曙印刷

〒904-2172 沖縄県沖縄市泡瀬4-31-15 TEL (098) 938-7884